



第 154 号 令和元年 9 月 1 日

伊豆歩倶楽部会報

♪ 伊豆歩の歌 ♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）

緩歩で観歩

歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）

歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は

歓歩で完歩

■第 203 回 伊豆歩倶楽部 9 月例会

神秘をたたえた八丁池、野鳥の森を訪ねて

12 km 6 km

昨年 9 月に計画したコースだが、その折には、台風と重なり中止となった企画の復活である。天城火山の火口原湖であると言われていた八丁池は、近年の調査で断層の跡と改められた。昭和天皇が、行幸されたことと、天然記念物モリアオガエルの棲息地として知られている。標高は 1,173m にあり、その周囲は 8 丁（870m）あるといわれるが、実際は 580m である。

八丁池までのルートはいろいろあるが、今回は、比較的楽なコースをとる。バスで八丁池口まで行き、ここをスタート地とする。寒天橋～八丁池口の間は、国立公園特別保護地域に指定され、マイカーは入れない八丁池口をスタートし、緑豊かな寒天林道を進み、展望台に立ち寄り 360 度の絶景を楽しみ、約 1 時間ほどで八丁池に到着する予定。早めの昼食をとる。食後はのんびりと湖畔散策をどうぞ。下りは先ほどの展望台の先を左に折れ、野鳥の声とブナ林などの景観を楽しみながら青スズ台を経て、スタートした八丁池口に戻る。6 キロコースはここでゴールとしバスで河津まで戻る。



復路はバスで登ってきた寒天林道を下る。ブナ、スギ、ヒノキ、シデなどの自然林を満喫しながら、緩やかな下りの林道を辿り、二階滝の駐車場へゴールする。

初級者向けのハイキングコースである。ご家族ご友人お誘いの上、気軽に参加ください。

【開催年月日】 令和元年 9 月 29 日（日）

【集合時間】 10 時 00 分

【集合場所】 八丁池口バス停前広場

【交通機関】 伊豆急下田 8 時 08 分発 河津 8 時 21 分着

伊東 7 時 56 分発 河津 8 時 37 分着

バス河津 8 時 50 分発 踊子歩道二階滝経由 9 時 31 分

八丁池口 9 時 53 分着

マイカーの方は二階滝駐車場を利用し、踊り子歩道二階滝に移動

【出発式・スタート】 出発式 10 時 00 分 スタート 10 時 20 分

【参加費】 会 員 無料 一般参加者 500 円（マップ、保険代等）

【コース】 1 2 km

八丁池口 ➡ 八丁池 ➡ 青スズ台 ➡ 八丁池口 ➡ 寒天橋 ➡ 二階滝駐車場

6 km

1 2 km コースと同じで八丁池口がゴールとなります。

【ゴール】 15 時 00 分予定

【問合せ】 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂 301
伊豆歩倶楽部事務局（笹本）
TEL ・ FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

■第 2 0 4 回 伊豆歩倶楽部 1 0 月例会

ジオサイト伊豆西海岸を廻る

10 km

今回のコースは伊豆西海岸を代表するジオポイント堂ヶ島を廻るコースです。

安城岬ふれあい公園をスタートして、途中の山道はアップダウンがありますが岬の先端を目指します。先端は亀のような岩から「亀甲岩」と呼ばれています。スタート地点に戻り沢田地区の仁科漁港方面に向う、沢田公園は白っぽい火山灰、軽石の地層の縞模様が美しく、断崖絶壁の上での夕陽を見ながら入る露天風呂は最高とのこと。また隣接した枯野公園では海底に流れ出た熔岩が海水により急激に冷やされバリバリと砕けながら流れ出た水冷熔岩が見られます。引き返して乗浜海水浴場に入る手前には「白岩山岩壁窟画」があり聖徳太子をはじめと



枯野公園

して仏像画が描かれていて、造船の成功や地域の人々の安全を祈願したのではないかとされています。乗浜海岸からは堂ヶ島の海岸線の美しさを堪能できる。白い崖の海岸線が美しい堂ヶ島は海底に噴出した軽石や白い火山灰が堆積したもので海流による縞模様「波の化石」が美しい、堂ヶ島の一番の魅力は波の浸食で洞窟になり最後に天井が落ちた「天窓洞」で国の天然記念物に指定され

ています。駿河湾の景色を楽しみながら国道 136 号を上り瀬浜海岸に向かう、ここは干潮になると陸と地続きになる「トンボロ」現象を見ることがきます。

帰りのコースは国道 136 号をいっきに下りスタート地点の安城岬ふれあい公園を目指します。

- 【開催日時】 令和元年 10 月 20 日（日）
- 【集合場所】 安城岬ふれあい公園
- 【集合時間】 10 時 00 分 スタート 10 時 15 分
- 【参加費】 会 員 無料 一般参加者 500 円（マップ、保険代等）
- 【コース】 10Km
安城岬ふれあい公園➡安城岬➡法眼寺➡沢田➡沢田公園➡枯野公園➡乗浜海岸
➡堂ヶ島・天窓洞(昼食)➡瀬浜➡国道 136 号➡安城岬ふれあい公園（ゴール）
- 【ゴール】 15 時 00 分予定
- 【問合先】 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂 301
伊豆歩倶楽部事務局 （笹本）
TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

10 月オプション

樹海の神秘にふれる

11Km 4Km

今回は、多くの要望がありました青木ヶ原樹海を計画しました。貞観 6（864）年富士山の北西で起きた大噴火（貞観の噴火）によって、流れ出た溶岩の上に苔や草、低木が生え、千年以上の時を経て現在のような装いとなった。標高 900～1300m 付近に位置し、樹林帯の面積は約 30 平方キロメートルに及ぶ。常緑針葉樹が多く国の天然記念物に指定されている。

千円札の図柄となった富士山の雄姿が望める本栖湖（標高 900m、水深 121m）県営駐車場をスタートして北の山バス停より東海自然歩道に入る、本栖城址登山口を進むと国道 139 号線の下をくぐり青木ヶ原樹海に入る溶岩台地に根を張りまわした木々や森をおおう美しい苔の中を歩くと精進湖民宿村に出る（B コースのゴール）。昼食と小休憩をして再び樹海の中の東海道自然歩道を進むと精進口登山道に合流する、歩道は整備されていて歩きやすい、樹木や溶岩に密生した苔を眺めながら高低差のない歩道を進むとゴールの富岳風穴である。



樹海の中の道は、落ち葉の上を歩く高低差のない歩道です、樹木や溶岩に密生した苔を観ながら神秘の樹海を歩きませんか。

- *開催年月日 令和元年 10 月 27 日 (日)
- *集合時間 10 時 00 分
- *集合場所 本栖県営駐車場
- *距離 ・ A コース 11Km B コース 4Km
- *会費 会員 10,000 円 一般参加者 11,000 円 (昼食、マップ、保険代等)
- *募集人員 23 名 (会員優先)
- *締め切り 令和元年 10 月 12 日 (土)
- *行程 中型バス使用
松崎 5 : 00 → 伊豆急下田駅 5 : 40 → 道の駅「開国下田みなと」 5 : 45 →
奈良本・小橋 6 : 20 → 高原ビール 6 : 30 → 伊東商高前 6 : 55 → 道の駅「伊東マリ
ンタウン」 7 : 10 → JR 三島駅北口 8 : 20 → 長泉沼津 IC → 駿河湾沼津 SA 8 : 50 →
新富士 IC → 本栖県営駐車場 10 : 00
- *コース 本栖県営駐車場 ➡ 城山跡入口 ➡ 国道トンネル ➡ 精進湖民宿村 (昼食) B コースゴ
ール ➡ 精進口登山道 ➡ 富嶽風穴 (ゴール予定 15 : 00)
- *帰宅予定 伊東 18 時 30 分 下田 19 時 50 分 松崎 20 時 35 分
- *申込方法 会員番号、名前、電話番号、乗車場所記入の上ハガキ、FAX、電話で事務局まで
申し込んでください。(一般参加者は生年月日もお願いいたします。)
- *申込・問合せ先 〒215-0038 静岡県下田市大賀茂 301
伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)
TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

※今回の例会は参加人員が 18 名以下の場合は中止となります。

伊豆歩倶楽部 7 月例会 第 8 回伊豆東浦路

歴史エピソード満載の古道散策

伊豆歩倶楽部会員 N01030 田代優子

「タイヘンゴブサタシテオリマス」と会う人ごとに挨拶するところから始まった今回の例会、一年半ぶりの私を皆さんが温かく迎えてくださる。川奈駅の ATM の前で円陣を組んで体操し、檄を飛ばすよう指名されてうろたえる。「頑張って古道を歩きましょう、エイエイオー！」駅に向かう男性



伊東市役所前の伊東祐親騎乗像

がいぶかし気に円陣の真ん中を突っ切るのが可笑しかった。

おなじみの駅やいつも車で何気なく通ってしまう道も、清水さんの解説を聞くと、かつてそこに住んでいた人たちの様子が浮かんでくる。今回はまさに「古道の名残を求めて」と題したウォーキング。例えばアピタの近くに「水無田（みなしだ）」という地名がある。大室山が噴火した4千年前に溶岩や火山灰で田んぼが埋まってしまったことに由来しているそうだ。そこで実際に生活していた人たちが出遭った大惨事。田や畑と一緒に多くの人たちが埋められただろう。そして生き延びた人たちは溶岩を取り除き、ふたたび田んぼを復活させたのだ、何代もかけて。噴火の災害に遭った人たちに比べたら、平安末期の武将、伊東祐親はずっと今の私たちに近い。伊東随一の有名人だが、その墓は住宅街の一角に申し訳なさそうに立っていた。五輪塔の蜘蛛の巣を払うのがせめてもの供養・・・と思いきや、横に今上天皇が皇太子時代に訪れたという碑があった。宇宙船のような伊東市役所の前に、祐親の騎乗像がある。こちらは鎧をつけた右手を振り上げ、実に堂々としている。城があったといわれる物見塚公園。平清盛に信頼され、源頼朝を人質に預かっていた平家方豪族の祐親は、凶らずも、娘の八重姫と頼朝との間に生まれた千鶴丸を松川に沈めて殺す羽目になる。のちに源氏の世になって頼朝から一命を赦されたが、潔しとせず自害。おイエのために孫を殺し、赦されても自分の過去を恥じて自殺・・・この二つのエピソードが武士魂を象徴し称賛に値するというのだろうか。830年ほど前の出来事は現在の価値観とあまりに違いすぎる！！

伊豆に流された人物といえ、日蓮もいる。海光山佛現寺は、聖人が伊東家の地頭の病を祈祷で救った縁で逗留した地として知られる、たいへん風格のある寺である。本殿に祀られている毘沙門天が有名だと聞き、なぜか女性メンバーだけが参拝する。日蓮時代に造られたとは思われないが、まんまるの目が飛び出したかなり特徴のある像だ。それに踏みつけられている天邪鬼に似た若いお坊さんに、「いつの時代に造られたのでしょうか」と聞くと、「4月に来たばかりで分かりません」との答え。今は7月末、なんとまあ怠慢な坊主なこと！

伊東の市街地の古道は細くて複雑で、猫か蛇か清水さんにしか分からないルートであった。マリンタウンの手前から宇佐美に通じる山側の古道は今回唯一の急坂で、さすがに汗だくだくとなる。かつては線路辺りまでが海であり、江戸に向かうにはその道を通るしかなかったそうだ。その入り口近くに橘姫の祠があった。東征に向かう日本武尊の船が嵐に遭遇し、同乗していた後の橘姫が海に身を投げて海神を鎮めたという逸話は横須賀の観音崎あたりである。その際彼女の笄（こうがい）が流れ着いたのがこの祠の縁起だとか。



市街化された道幅の狭い古道伊豆東浦路

距離的に言ってありそうな話である。昔の人がそうした神話をいかに大切にしていたかが分かる素敵なエピソードにしばし感じ入った。(ちなみに後で知ったことだが、千葉の袖ヶ浦は、橘姫の着物の袖が流れ着いたということでつけられた地名だそうだ。)

「マリンタウンで生ビールもいいね」という男性陣の声は、あっさりと女性陣に無視され、海沿いの国道に出て干物屋で一休み。ウォーキングに関心があるという店のお姉さんに、伊豆歩倶楽部の素晴らしさを売り込む。やがて私の太ももがパンパンになってきたころ、宇佐美駅にゴールした。下りの電車がすぐに来たので、一行は先に伊東駅でゴールしていた笹本会長グループに合流して、生ビールにありついただろう。残念ながら私は上り方面だった。

この度、車や電車ではあっという間の道程を歩いてみて、足というもののすごさに気づいた。もちろん速度では負ける。しかし、足にはガソリンも車検も買い替えもいらないのだ。時間さえかければ、自分をどこにだって運んでくれる。休めばまた動いてくれる。今回のあんなに細く曲がりくねった道も、車では通れないが、足ならどこにでも行ける。10月には青木ヶ原の樹海にも！！

梅檀の咲いて古道の戸をひらく 夏緒

新家族会員紹介

伊豆歩倶楽部会員 N01602 若林 由美 (守谷市)

6月16日、江橋先生追悼ウオークの参加を機に、新会員になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

実は、初代会長の辺津芳次さんご夫妻とは20年以上前に、スキー旅行を何度かご一緒させていただき、昼はスキー、夜は参加者全員で飲みながらの語り合いと、楽しい時を過ごしました。今となっては、忘れられないいい思い出です。

私の歩くきっかけは、8年前、突然脳内出血で救急車で病院に搬送され、2カ月入院したことでした。左半身がまひし、手も足も自由に動かせなくなりました。リハビリではまず、歩くことが一番よいといわれ、毎日少しずつ歩き始めました。最初は歩くのも困難でしたが、主人と一緒に歩いて習慣になっていきました。歩き続けると、足の調子もよくなった感じがします。歩いた後は、とても気持ちがいいです。



その後、山手線一周ウオークにも参加してみました。吉田松陰拘禁の跡(江橋先生追悼ウオーク)
た。皆さん、歩くのが速くて、ついていくのが大変でした。だいたい、半周の約20*が精いっぱいですが、今年の正月は一緒に歩く皆さんからの励ま

しもあり、一周40kmをなんとか完歩できました。

5月は朝鮮通信使日韓友情ウォークで、伊豆歩の皆さんと、箱根の旧街道を歩きました。江橋先生追悼のウォークは、天気にも恵まれ、海岸線の気持ちいいコースを満喫しました。ゴール後の宴会では、楽しいカラオケ、お話をたくさん聞くことができました。伊豆歩の皆さんは、笹本会長をはじめ皆、明るく親切でよい人ばかりなので、入会できてよかったと思います。

家から遠いため、倶楽部にあまり参加できませんが、皆さんと一緒に歩けるのを楽しみにしています。末永くお付き合いできるよう、どうかよろしくお願い申し上げます。

◆◇例会報告◆◇

■第201回 伊豆歩倶楽部 7月例会

市街地に飲み込まれた古道の名残を求めて

- ・開催年月日 令和元年7月21日（日）
- ・集合場所 伊豆急川奈駅前広場
- ・集合時間 10時00分 ・スタート 10時20分
- ・天 候 曇り
- ・参加者 10名
- ・距離 11 ・ 7 Km
- ・出発式 開会挨拶 笹本会長
コース説明 徳田尚志 清水政悦
ストレッチ体操 飯作勝治
檄 田代優子
- ・コースリーダー
トップ 徳田尚志
アンカー 飯作勝治
- ・ゴール時間 7Km 13時20分 11Km 14時40分



曇りがちで歩くには良い日である。出発式をして10時20分スタートする、水無田までは緩やかな登り道です、体育館（城星）でトイレ休憩をして逆川に11時05分着く、伊東祐親のお墓を廻って伊東市役所横の公園に11時40分着く、小休止をして佛現寺に12時00分、昼食会場の藤の広場に12時25分、昼食をして13時00分歩き始める。7KmのJR伊東駅入口に13時20分、ゴールのJR宇佐美駅には14時40分無事ゴールする。

尚 全コースの名所旧跡では、清水政悦会員のわかりやすい説明をみなで耳を傾けて聴いて東浦路の昔が思い浮かぶ。

伊豆歩俳壇



汗一斗ゆかしき瀬音も儘ならず	徳田尚志
木漏れ日を照り返しおる兜	徳田尚志
松川の瀬音も霞む蟬時雨	徳田尚志
真二つに割る谷奥野女郎花	清水政悦
横顔は紀香かさゆり暑氣払い	清水政悦

- ホームページアドレス <http://www.izuhorclub.com>
 ・メールアドレス info@izuhorclub.com
 ・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・
 皆様のご参加をお待ちしています。
 ※会報への投稿は、毎月20日までお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。
 ・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝治
 〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL: 0558-42-0864
 携 帯: 090-7675-8682
 ・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301
 『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 紀長
 TEL & FAX 0558-22-5465

■令和元年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

《令和元年4月1日～令和2年3月31日》

【会 費】 継続会員 3,000 円/年 家族会員 1,500 円/年
 新規会員 4,000 円 （入会金 1,000 円 年会費 3,000 円/年）
 日本ウォーキング協会 正会員 10,000 円/年 維持会員 2,000 円/年

【納入方法】 郵便振替用紙にて「記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部」宛に納入して下さい。

※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。
